

重要里地里山候補地抽出にかかる 検討について

環境省自然環境局自然環境計画課

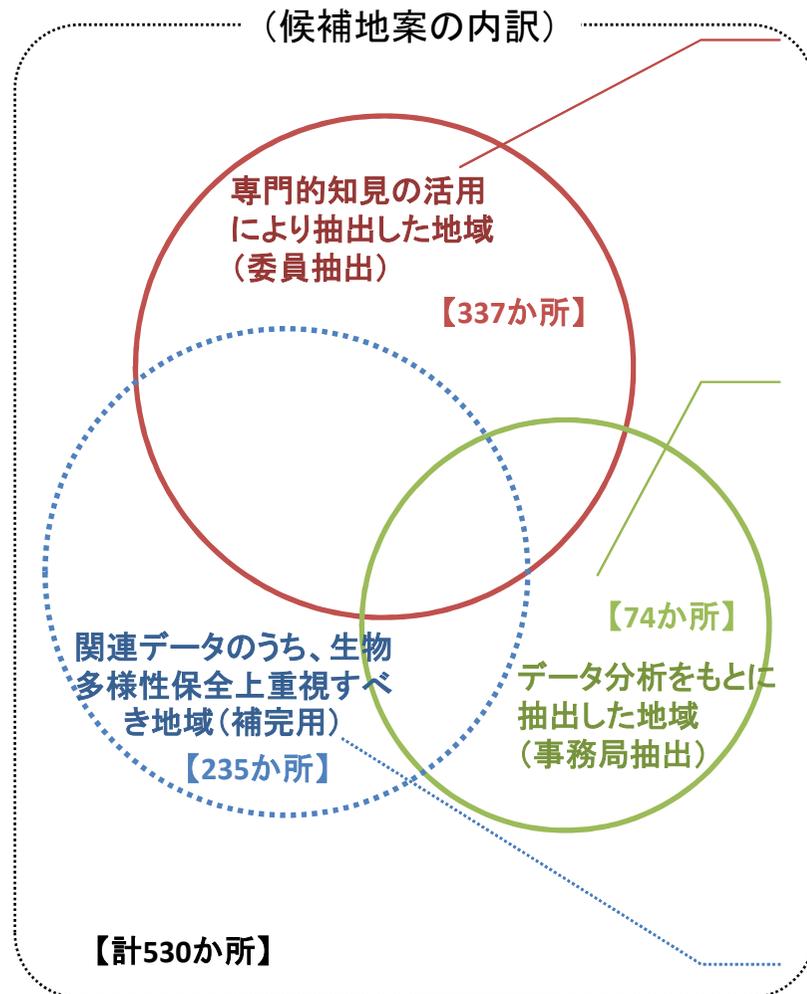
平成26年10月9日

資料2-1 候補地抽出の考え方・方法

指標データ(里地里山の生物多様性の状況を把握するための自然科学的データ)、関連データ(候補地抽出の参考となるデータ)をもとに、3つの方法で抽出した以下の地域を、生物多様性保全上重要な里地里山の候補地案とした。

専門的知見の活用により抽出した地域及びデータ分析の結果を候補地の軸とし、生物多様性保全と関わりが深いと思われる関連データによる地域を加え補完した。

なお、これらの候補地案は、漏れが出ないようにできるだけ広く拾い上げた結果であるため、分科会での精査に向け、再度生物多様性の観点から評価を行い、候補地として整理することとする。



(抽出の主な視点)

- * 生物多様性の豊かな地域である
- * 生物多様性に配慮した取組が行われている
- * 各委員の専門分野(生態系、動植物生態、景観、地域振興、政策など)から見た重要地域である
- * 保全活用の手法として他地域の参考になる取組が行われている

基本データ(里地里山メッシュ+小規模二次草原)、指標データ(指標1~9:生物多様性保全上重要な地域を示すデータ)を用いた「重なり図」を作成。うち、下記方法で、高得点「6・7点(最大値が7点)」を示した3次メッシュをもとに、エリアを広めに捉え整理した地域を候補地案とし、現地確認を経て候補地とする。

- * 指標データ1~9をすべて重ね合わせ、重なりを数値化(得点=重なった指標数)して3次メッシュを着色。

(データ分析の詳細については別添1参照)

関連データのうち、生物多様性保全の観点から特に重視すべきと考えられる下記データを、候補地案の補完用データとして活用。

- ・モニ1000里地調査(コアサイト): 18か所
- ・にほんの里100選: 100か所
- ・「里地里山保全再生モデル事業(環境省)」: 4地域
- ・特徴的な取組事例(環境省): 144か所

(別添1) 候補地案抽出にかかるデータ分析について

データ分析図として、基本データ、指標データを用いた「重なり図」を作成した。詳細は以下のとおり。

【使用データ】

- ・基本データ(里地里山メッシュ+小規模二次草原)
- ・指標データ(指標1~9:生物多様性保全上重要な地域を示すデータ)

【分析方法】より多くの基準(指標)を満たす里地里山を抽出

指標データ1~9をすべて重ね合わせ、重なりを数値化(得点=重なった指標数)して3次メッシュを着色したもの。

* 対象とする得点の検討

- ① 最大得点(7点)の3次メッシュ:19メッシュ
- ② 高得点の3次メッシュ(6点):334メッシュ、(5~6点):2816メッシュ
- ③ ②のうち基準を3つとも満たす3次メッシュ:(6点)229メッシュ、(5~6点)1487メッシュ

⇒上記のうち、①・②の「6点以上」の3次メッシュを対象とし、候補地案として整理を行った。

<分析に用いた指標データについて>

* 指標4のデータについては、里地里山のモザイク性を示す「さとやま指数」を、上述の「伝統的な土地利用により形成された注目すべき二次的自然」の対象地と照らし合わせ、平均値として算出された「0.3」以上の地域を対象とした。

* 指標5・6のデータについては、各種の効率的な保全に寄与する地域(解析試行による選択回数「100回」のみ)のメッシュを対象とした。

* 指標7・8のデータについては、対象種が1種以上確認されるメッシュをすべて対象とした。